

私たちの生活に欠かせない水

加 治 鈴 花

水巻町立 伊左座小学校

「えっ、何かな。」私は、顕微鏡でカッセイくんをじっくり見ました。「うわっ、動いた。」つい言葉が出ました。なぜなら、小さな生き物が、右や左に、ちよろちよると動いています。他のグループの友達も、「何だ、これ。動いている。」という声が、あちこちから出ていました。私は、他のグループの顕微鏡をのぞいてみました。すると、私が見た生き物ではない、小さな生き物がいました。「他にも小さな生き物がいるんだな。」と思いました。今までに見たことのない生き物は、何だろうか。

動いている生き物の正体は、自然の中で生きている微生物です。体のまわりにある毛を動かして行動するスピロストーマム。口のまわりにある毛を動かして、何かを食べようとするワムシ。その他にも、たくさんの生き物がいました。

これらの生き物が、私たちがよごした水をきれいにしてくれているなんて、まったく知りませんでした。そして、下水をきれいにするために、微生物のはたらきを利用している、下水しより場の方々のすごさを知りました。

このカッセイくんも食べることができない物があることを、実けんを通して知ることができました。水を入れたペットボトルに、一方にはティッシュペーパーを入れ、もう一方にはトイレットペーパーを入れます。そして、よくふります。すると、トイレットペーパーは小さ

くなつたのですが、ティッシュペーパーはかたまつたままでした。このことから、流してはいけないものがあり、流されたゴミは、下水しより場の方々が手でとっていることも知りました。とても大変な仕事です。

この授業を通して、私は、これからの生活で、自分が心がけようとすることを二つ考えました。一つ目は、カッセイくんが食べられないものを流さないことです。布やかみの毛、ティッシュなどは、カッセイくんが食べることができず、よごれたものをためてしまうからです。二つ目は、下水道管を、少しでも長くきれいにしておくことです。そのために油を流さないようにします。油は、下水道管にくっつき、下水の流れをわるくするからです。

これからも、よごれた水がきれいになり、川や海に流れ、そして私たちの所に安心して飲める水になってくる。このような水のじゅんかんが続くように、私もできることをがんばります。